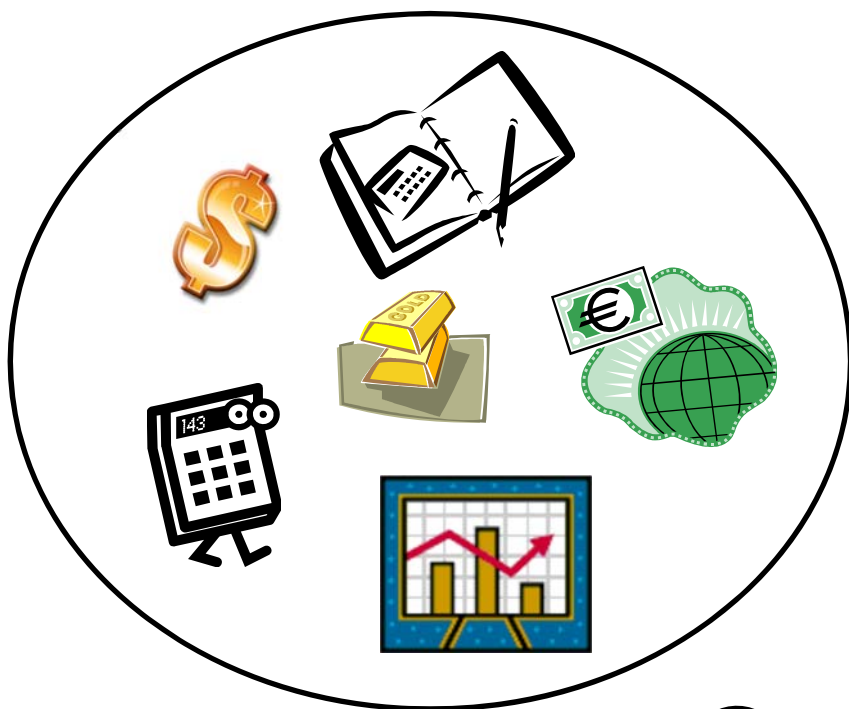


経済学部

基礎演習紹介



2013



目 次

- 1. 基礎演習の申し込みに関する注意事項（教務委員）・・・ 2
- 2. 基礎演習申し込み要領（注意事項）・・・・・・・・・・・・ 3・4

3. 演習内容紹介

井上 善博	ゼミナール…	5	竹治 康公	ゼミナール…	15
岩橋 誠一	ゼミナール…	6	田中 美生	ゼミナール…	16
岡部 芳彦	ゼミナール…	7	田宮 遊子	ゼミナール…	17
岡本 弥	ゼミナール…	8	辻 加代子	ゼミナール…	18
近藤 誠	ゼミナール…	9	常廣 泰貴	ゼミナール…	19
佐藤 伸明	ゼミナール…	10	三宅 敦史	ゼミナール…	20
白石 晃三	ゼミナール…	11	萩原 史朗	ゼミナール…	21
角村 正博	ゼミナール…	12	林 隆一	ゼミナール…	22
関 劭	ゼミナール…	13	山上 宏人	ゼミナール…	24
高島 博	ゼミナール…	14	渡部 尚史	ゼミナール…	25

経済学部（1年次・後期）「基礎演習」の 申し込みに関する注意事項

経済学部教務委員

- ・「基礎演習」は、1年次生（2013年度入学生）のみを対象として開講されます。
- ・2年次後期以降に担当される専門演習（演習Ⅰ～卒業論文指導）で必要とされる研究・発表・討議等を行うための基礎的素養を身につけます。
- ・「基礎演習」は選択必修科目で、必修科目ではありません。

※経済学部の卒業のための要件の一つとして、4年次に卒業論文もしくは各コースの「特講」のいずれかの単位を取得することが課されています。そのうち、卒業論文を書くためには、2年次後期以降の演習を履修し、修得しなければなりません。基礎演習は必修科目ではありませんが、2年次以降の演習での学習の基礎となり、4年次での卒業論文の準備段階にあたるものですから、出来る限り全員が受講するようにしましょう。

- ・受講を希望する学生は、次ページの要領をよく読み募集期間内に申込手続きを行ってください。
- ・小人数教育を実践するために、希望者すべてが履修許可を得られるとは限りません。**第2次募集は、第1次募集で履修許可が得られなかった学生、または、第1次募集で申し込みをしなかった学生に対して行います。（第2次募集で募集を終了します）。**第1次募集で履修許可になった学生は第2次募集に再度申し込むことはできません。
- ・「基礎演習」は後期の火曜日3時限に開講されます。『2013年度授業時間割表』で、後期履修予定の科目等と重複していないか確認した上で、申し込みを行ってください。
- ・「基礎演習」は選択必修科目ですが許可制科目ですので、履修を許可された学生は、担当教員の「基礎演習」を必ず履修登録してください。
- ・本パンフレットの5ページから24ページに、各担当教員の演習内容を紹介しています。演習内容は担当教員ごとにそれぞれ特色がありますので、紹介文をよく読んで応募してください。
- ・それぞれの演習内容について質問のある学生は、その演習科目担当教員にオフィスアワーを確認して直接たずねてください。（前期オフィスアワーについては経済学部掲示板もしくは教務事務室経済学部窓口で確認できます。）

経済学部（1年次・後期）

「基礎演習」申し込み要領

「基礎演習」の申し込み及び発表は、つぎの日程で行います。2ページの注意事項をよく読んで、間違いのないように、必ず申込期間内に申し込んでください。

なお、受講者の決定は、当該ゼミナール担当教員が選考の上行います。

第1次募集

申込期間 : 2013年 6月 4日 (火) ~ 6月10日 (月)
9:00~17:00 (土・日は除く)

申込場所 : 教務事務室前レポート提出箱に投函すること。

発表 : 2013年 6月25日 (火)

発表場所 : 教務事務室経済学部掲示板 (6号館1階)

第2次募集

第2次募集は、第1次募集で履修許可が得られなかった学生、または、第1次募集で申し込みをしなかった学生に対して行います。(第2次募集で募集を終了します)。第1次募集で履修許可になった学生は第2次募集に再度申し込むことはできません。

第2次募集を行うゼミナール担当教員は、掲示によって発表します。

申込期間 : 2013年 6月25日 (火) ~ 7月 1日 (月)
9:00~17:00 (土・日は除く)

申込場所 : 教務事務室前レポート提出箱に投函すること。

発表 : 2013年 7月17日 (水)

発表場所 : 教務事務室経済学部掲示板 (6号館1階)

申込書(基礎演習カード)記入上の注意

1. 必要事項は黒のボールペンで、もれなく正確に記入すること（エンピツ書きは不可）。
2. 写真（3cm×4cm）は、裏面に**学籍番号・氏名を記入**したうえで所定の位置に剥がれないように貼付すること。
3. 募集状況等により、第1希望のゼミナールに入れるとは限りません。
希望演習名の欄には、第5希望まで記入してください。
4. 第1希望～第5希望までにおいて、設問がある場合は、選考の対象になるので詳しく記入すること。
5. いったん決定したゼミナールは変更できないので、申し込みには慎重を期すること。
「基礎演習」への所属が決定した場合、今年度後期9月下旬の履修登録の際に、必ず履修登録してください。
6. 申込期日は厳守すること。

井上 善博 セミナール

1. 講義内容

【テーマ】ディズニーランドはなぜ楽しい？

ディズニーランドには、リピーター(何回も来場する人)がとても多いといわれています。なぜ、多くの人たちは、ディズニーランドに魅力を感じるのでしょうか。ディズニーランドが東京に開業して、もう 30 年になりますが、時代遅れの感じはなく、今なお成長し続けています。

東京都心から 30 分で、夢の世界で羽をのばすことができる、つまり、現実の世界から簡単に逃避できるということがディズニーランド成功の秘訣といえるでしょう。

その、夢の世界を演出するためにディズニーランドでは、どのような工夫をしているのでしょうか。ディズニーランドを楽しいと感じさせる、その工夫について考えてみましょう。

2. テキストおよび参考書

有馬哲夫『ディズニーランドの秘密』新潮新書、2011 年(735 円)

3. 成績評価方法

平常点 50%、プレゼンテーション 50%で評価します。

4. 受講者への希望

日本や世界のテーマパークについて、調べてみましょう。皆さんからの積極的な問題提起も大歓迎です。実りのあるそして、楽しいゼミの時間にしましょう。

5. 設問

6. 研究室・オフィスアワー (前期)

研究室 : KAC 8号館5階

オフィスアワー : 火曜日 昼休み

7. 担当科目

企業経済論、中小企業論 など

岩橋 誠一 セミナール

1. 講義内容

- (1) 経済の景気を左右する消費について勉強する
- (2) 前半は消費の理屈について考える
- (3) 後半は消費についてディスカッションする
- (4) 最後にまとめをする (文章, マンガ, ポスター, イラストで)

2. テキストおよび参考書

講義時に指示する

3. 成績評価方法

出席と発表、発言を重視して成績評価する

4. 受講者への希望

- (1) マンガ、イラストが描ける人
- (2) 歴史が好きな人
- (3) コミュニケーションの重要性を考えている人

5. 設問

私のゼミを選択した理由か、何をしたいかを書いて下さい。

6. 研究室・オフィスアワー (前期)

研究室 : K P C B号館4階

オフィスアワー : K A C 火曜日 5限 (8号館3階 教員控室)

7. 担当科目

経済史総論、西洋経済史 I・II など

岡部 芳彦 セミナール

1. 講義内容

一部上場企業やフランチャイズ・オーナーの研修で実際に使用されている「マネジメント・ゲーム」を使って、会社経営について学びます。一人ひとりが社長となり、会社または店舗を運営し、決算を行います。結果としてビジネスの基本となる情報をかぎられた時間内で処理するための能力に加えて、日常の仕事のみならず、生きてゆく上で必要なコミュニケーションを行えるようにしたいと考えています。

講師は実際に企業研修で本講義を担当していた経験から丁寧な講義・解説に努めますが、授業の大半は学生主体ですすめられるため積極的な授業参加を期待します。これらの講義内容を通じて、将来「働く」ことへの具体的なイメージや楽しさを感じ、自分の得手不得手を知ることによって、各人のキャリアプランを描く機会になり、就職活動へ踏み出す第一歩となればと考えています。

2. テキストおよび参考書

とくに参考書は指定しません。各回に、さらに理解を深めるための書籍があれば紹介します。

3. 成績評価方法

平常点・授業への参加 100%。発表、発言、積極的な参加はポジティブに評価します。

4. 受講者への希望

ゲーム形式の実習ですので、ゲームに積極的に参加してください。

5. 設問

- 1、この演習を希望する理由をお書きください。
- 2、現時点で考える自分の将来像をお書きください。

6. 研究室・オフィスアワー（前期）

研究室 : KAC 8号館7階
オフィスアワー : なし

7. 担当科目

日本経済史、経済と社会 など

岡本 弥 セミナール

1. 講義内容

経済学を学ぶ上で最低限必要となる数学の知識をしっかりと身につけるため、毎回解説をしたあとに問題演習（小テスト）を行います。限られた時間を有効活用したいので、経済学で用いられる数学の中でも使用頻度が高いものに集中して解説および演習を行いたいと考えています。高校時代に数学をしっかりと勉強したという実感がない人にも配慮しますので、遠慮なく参加してください。

2. テキストおよび参考書

特になし（複数のテキストからよいと思われる内容を抜粋してプリント等の教材を作成します）。

3. 成績評価方法

平常点 50%、小テスト 50%

4. 受講者への希望

受講の前提として、入門レベルのミクロ経済学の知識をもっていることが望ましいでしょう。また数学については、高校で学ぶ数 I 程度の知識があればいいと思います。

5. 設問

6. 研究室・オフィスアワー（前期）

研究室 : KAC 8号館6階

オフィスアワー : 水曜日 昼休み

7. 担当科目

基礎経済学、統計学 など

近藤 誠 ゼミナール

1. 講義内容

基礎的な経済学文献のレポートを分担して行なうことにより、マクロ・ミクロ経済学の学習および資料作成、プレゼンテーションのやり方について習熟度を高める。2年次以降のより高度な過程に進むための基礎的なステップとして、経済分析の楽しさや奥の深さを実感できるような演習にしたい。

2. テキストおよび参考書

What's 経済学（第3版） 辻・八田著（有斐閣）

3. 成績評価方法

出席及びゼミでの発表

4. 受講者への希望

好奇心旺盛な者

5. 設問

6. 研究室・オフィスアワー（前期）

研究室 : KAC 8号館7階

オフィスアワー : 火曜日 昼休み

7. 担当科目

日本経済論、産業技術論 など

佐藤 伸明 セミナール

1. 講義内容

公務員試験（事務系，警察，消防等）等の受験を考えている人を対象として，教養試験のうち重要なウエイトを占めている数的処理について学習します。中学・高校で数学は苦手だったという人ほど，この講義を受講することの利益は大きいのではないのでしょうか。

2. テキストおよび参考書

テキストは最初の授業で指示します。学習レベルとしては入門的で，かつ，2000円程度までのなるべく安い本を選ぶつもりです。この授業ではテキストの購入は不可欠です。

3. 成績評価方法

宿題および授業中の報告・ミニテスト等の平常点に基づく。

4. 受講者への希望

授業中の私語，飲食，携帯，着帽等のよろしくないマナーを自らの判断・良識で行わない人を希望します。

5. 設問

6. 研究室・オフィスアワー（前期）

研究室 : KAC 8号館5階

オフィスアワー : 火曜日 16:30 ~ 18:00

7. 担当科目

マクロ経済学、中級経済原論 など

白石 晃三 セミナール

1. 講義内容

就職活動を成功に導くために必要なことをトレーニングする授業です。

就職活動には4つのハードルがあります。

- ①履歴書、エントリーシート
- ②筆記試験
- ③グループワーク
- ④面接

この4つのハードルの乗り越え方を教えます。

2. テキストおよび参考書

泉忠司『「論文&レポート」の書き方』青春出版社、内定ロボット『すべての問題形式を誌上に再現！！筆記試験の完全攻略』日経 HR。

3. 成績評価方法

小テストと授業中のパフォーマンスの合計で評価します。

4. 受講者への希望

就職活動で良い結果を出したい学生の受講を希望します。

5. 設問

大学入学後にどのような課外活動（部活動、サークル活動、ボランティア活動）をしてきたかを書いてください。

6. 研究室・オフィスアワー（前期）

研究室 : KAC 8号館7階

オフィスアワー : 火曜日 4限

7. 担当科目

現代経済入門、マクロ経済学 など

角村 正博 セミナール

1. 講義内容

演習のテーマは「観光まちづくり」です。

21世紀は観光の世紀です。日本政府も「観光立国」という旗印を掲げています。

しかし、「観光立国」を実現するのは地域の人々です。それぞれの地域が、地域固有の文化や、歴史、自然を生かしたまちづくりをめざしています。ハードからソフトへ、知恵と工夫へと、まちづくりの手法も変化しました。

演習では、まず、話し方や書き方などプレゼンテーションの技術を学びます。その後、観光学や地域学の基礎を学んでいきます。

2. テキストおよび参考書

本間正人・松浦理保『セルフ・コーチング入門』日経文庫、2006年、830円＋税。

齋藤孝『一瞬で伝える「わかりやすさ」の技術』大和書房、2010年、1,400円＋税。

3. 成績評価方法

ゼミやフィールドワークへの参加状況、報告などを総合的に評価します。

4. 受講者への希望

「観光」や「まちづくり」、「コーチング」などに興味のある人を希望します。知識はなくても構いません。

5. 設問

角村ゼミを志望する理由を書いてください。(就活のときと同じく、書類は見た目が勝負です。きれいにとは言いませんが、ていねいに記入してください。)

6. 研究室・オフィスアワー (前期)

研究室 : KPC B号館4階

オフィスアワー : KAC 火曜日 昼休み (8号館3階 教員控室)

7. 担当科目

現代経済入門、マクロ経済学 など

関 助 セミナール

1. 講義内容

経済学とはなんだろう、経済学はいかにして作られたのだろう、経済学の歴史は？と様々な疑問が湧いてきます。そこで、基礎演習では経済（学）についてのいろんな資料を使いながら、上記の問題を皆さんと一緒に考えていきたいと考えています。

2. テキストおよび参考書

資料については、演習の時に配布します。また参考書についても演習の際にその都度紹介します。

3. 成績評価方法

レポート提出、出席状況などで総合的に評価します。

4. 受講者への希望

知的旺盛で、行動的で、積極的な受講生を望みます。

5. 設問

将来の夢を語ってください。

6. 研究室・オフィスアワー（前期）

研究室 : KAC 8号館6階

オフィスアワー : 火曜日 昼休み

7. 担当科目

経済学史、経済思想史 など

高島 博 セミナール

1. 講義内容

基礎演習では、「21世紀文化経済システムとNPO、NGO」をテーマに、NPOとは何か、日本のNPOの発展、国際社会とNPO、NGO、自治体とNPO、企業とNPO、文化財団等について、指導します。

[1]文化経済型社会システムとNPO、NGO

[2]社会的経済としてのNPO、NGO

[3]地域づくりの社会・文化開発と企業財団・新しいコミュニティ財団の可能性

①図書館の利用、報告の仕方、レジュメの作り方の指導

②グループディスカッションの習得

2. テキストおよび参考書

『文化による地域づくり：一つの文化経済学的アプローチ』高島博著
(晃洋書房、2009)

3. 成績評価方法

出席状況、報告、レポートなどで総合的な評価

4. 受講者への希望

自己表現ができる人。真面目に出席し、しっかり報告ができ、自分の意見を表現できる人を希望します。

5. 設問

○売手よし、買手よし、世間よしー近江商人の「三方よし」の哲学

6. 研究室・オフィスアワー（前期）

研究室 : KAC 8号館6階

オフィスアワー : 火曜日 昼休み（117A教室）

7. 担当科目

財政学 など

竹治 康公 セミナール

1. 講義内容

経済学の基礎から始めて、国債問題、産業空洞化問題などに関する議論を進め、我々の経済、社会がいかにあるべきかを考える。

2. テキストおよび参考書

経済学者に騙されないための経済学入門

3. 成績評価方法

ゼミ・レポートによる

4. 受講者への希望

各自、自分のテーマを持って主体的に経済・社会を考えてください。

5. 設問

今あなたが一番したいことは何ですか。

6. 研究室・オフィスアワー（前期）

研究室 : KPC B号館4階

オフィスアワー : KAC 月曜日 5限(KAC, 事前にメールをください)

7. 担当科目

ミクロ経済学 など

田中 美生 セミナール

1. 講義内容

なぜ、発展する国とそうでない国が生まれるのか、伸びる地域はどこが違うのか、機械技術の進歩、例えば自動化が進み過ぎれば人々の雇用はどうなるのか。

こうした素朴で、しかし根源的な疑問は、社会や経済に対する重要な問題提起であるだけでなく、初学者を学問へと誘う「登山口」としても有用です。

当演習では、そうしたテーマに関する面白い素材を自分たちで探し出して、1冊の本をじっくりと読み込み、楽しみながら社会や経済問題への目を開くことをめざします。

2. テキストおよび参考書

テキストは数冊の候補から相談して決定します。参考書は適宜、紹介します。

3. 成績評価方法

平常点 50%、成果点（レジュメやプレゼンテーション） 50%、を基準に評価します。

4. 受講者への希望

演習内容に関心があり、自ら学ぼうという意欲のある人、責任を持って他の人と協力できる人を歓迎します。

5. 設問

あなたは社会や経済のどんな問題に関心がありますか。演習ではどんな勉強をしたいですか。

6. 研究室・オフィスアワー（前期）

研究室 : KAC 8号館7階

オフィスアワー : 火曜日 12:30~13:00

7. 担当科目

日本経済論、地域経済論 など

田宮 遊子 セミナール

1. 講義内容

本演習では、資料収集、文献・資料読解、ディスカッション、グループによる共同調査・報告、ディベートを行う。これらの作業を通じて、ゼミ生各自が、大学4年間の学習の基礎となるスキルを身につけることを目標にする。

2. テキストおよび参考書

小熊英二『社会を変えるには』講談社現代新書（1300円＋消費税）

3. 成績評価方法

ゼミでの報告、議論への参加、提出物、最終報告（ディベートの内容）を総合的に評価する。ゼミへの出席は成績評価の前提となるので、毎回出席すること。テストは行わない。

4. 受講者への希望

本演習を受講するにあたり、問題意識をもって演習に望むこと、毎回出席すること、すべての課題をこなすこと、積極的に議論に参加すること、グループワークに責任をもって参画することが必要となる。

5. 設問

あなたが社会を変えたいと思ったとき、そのためにはどうすればよいか？思いつくことをいくつでも挙げなさい。

6. 研究室・オフィスアワー（前期）

研究室 : KPC B号館3階

オフィスアワー : KAC 火曜日 昼休み（8号館オフィスアワー室）

7. 担当科目

社会保障論、福祉経済論 など

辻 加代子 セミナール

1. 講義内容

本ゼミのテーマは、社会生活を営み、円滑なコミュニケーションをはかる上で欠かせない要素、“敬語”です。ゼミでは敬語の知識を培い、場面に即した敬語運用能力を高めることを目指します。

授業は、

①敬語に関する文献を講読したり、内容について要約したりする、
②小グループで、興味を感じた問題について調べたことを発表したり、質疑応答を行ったりする、という形で進めていきます。

授業を通じて、問題意識を持って、自発的に課題に取り組む姿勢を作っていきたいと思います。あわせて、レジュメの作り方、口頭発表の仕方等について、実地に、丁寧に指導していきます。

2. テキストおよび参考書

テキスト：菊地康人著『敬語再入門』（講談社学術文庫）

参考書：必要に応じて適宜紹介します。

3. 成績評価方法

演習での報告内容、授業への参加度、平常点等により総合的に評価します。

4. 受講者への希望

人間の社会的行動に関心がある人、学習意欲にあふれた人、他の人と協力してグループワークを進めることが出来る人を希望します。

5. 設問

本ゼミを選択した理由をひと言書いて下さい。

6. 研究室・オフィスアワー（前期）

研究室：KAC 8号館7階

オフィスアワー：火曜日 昼休み

7. 担当科目

文章表現Ⅰ・Ⅱ など

常廣 泰貴 セミナール

1. 講義内容

ミクロ経済学を学ぶ上で必要となる微分・積分や線形代数の基礎知識を身につけることを目標とする。また、基礎的なミクロ経済の理論についても学習する。テキストを輪読するが報告者はテキストの指定された箇所をレジюмеにまとめて報告し、それについてゼミ全体で質疑・応答を行うことにする。

2. テキストおよび参考書

未定。

3. 成績評価方法

出席状況、報告内容、質疑・応答の内容、小テストの結果によって評価する。

4. 受講者への希望

5. 設問

6. 研究室・オフィスアワー（前期）

研究室 : KPC B号館4階

オフィスアワー : KAC 木曜日 昼休み（8号館3階 教員控室）

7. 担当科目

ミクロ経済学、産業組織論 など

三宅 敦史 セミナール

1. 講義内容

「お金」は汚いものである、あるいはお金を他人に貸し出す「金融会社」は怖い存在であると考える人は多いと思いますが、金融は「経済の血液」ともいわれ、金融システムが円滑に機能することが経済にとっては重要です。本基礎演習では金融論の入門書を輪読することで、金融についての最低限の知識を身につけることを目的とします。

2. テキストおよび参考書

日本経済新聞社編『ベーシック金融入門[第7版]』日経文庫

3. 成績評価方法

発表・提出物・ゼミ中の発言を総合して評価する。

4. 受講者への希望

5. 設問

6. 研究室・オフィスアワー（前期）

研究室 : K P C B号館4階

オフィスアワー : K A C 火曜日 昼休み（8号館3階 教員控室）

7. 担当科目

金融論、マクロ経済学 など

萩原 史朗 セミナール

1. 講義内容

基礎的な経済数学の内容に関するテキストを受講生全員で輪読します。具体的には、以下の通りに演習を進めて行く予定です。

- (1) 担当者が該当箇所の報告を行う。
- (2) 担当者以外の受講生が分からない個所の質問を行う。それに対して、担当者が回答および解説を行う。
- (3) 関連する練習問題を解き、知識を定着させる。

また、演習では、学習した経済数学の知識が経済・経営の問題を考察する上でどのように役立つかについても折に触れ紹介する予定です。

2. テキストおよび参考書

白田由香利『悩める学生のための経済・経営数学入門—3つの解法テクニックで数学アレルギーを克服！—』共立出版

3. 成績評価方法

主に、講義の際に受講者が作成したレジュメおよび演習への貢献により評価を行う。具体的には、報告 60%、平常点 15%、課題 25%で成績評価を行う。

4. 受講者への希望

受講者には、目的意識を高く持ち、積極的にゼミに取り組むことを期待します。私も皆さんの能力を最大限引き出せるように努力します。

5. 設問

6. 研究室・オフィスアワー（前期）

研究室 : KAC 8号館6階
オフィスアワー : 月曜日 3限

7. 担当科目

経済数学Ⅰ・Ⅱ、ミクロ経済学 など

林 隆一 ゼミナール

1. 講義内容

最初は、現代経営の入門レベルのテキストを1章ずつ担当者が発表し、その内容を全員で議論し、企業の基本を学びます。その後、企業（活動）に関して、何でも結構ですので（受講生が興味を持つ）実際の企業活動をイメージしつつ、仕事の現場で実際に使われている知識・技能を意識し、企業活動の理論が現実に対応できる部分と限界を実感することを目的にします。

林は長年、実際に民間企業（金融関連）に勤務し、企業アナリストとして、製造業全般の多くの業種の企業を担当・分析してきました。その経験を活かし、なるべくリアル（实际的）な企業活動に即した議論を行いたいと思っています。

2. テキストおよび参考書

「現代経営入門」高橋 宏幸・丹沢 安治・花枝 英樹・三浦 俊彦著/有斐閣ブックス（2011年）。

その他、必要があれば、講義中に参考書を適宜指示します。

3. 成績評価方法

平常点（演習での発言等）60%、担当の発表内容40%。

演習では基本的に加点主義で評価するため、積極的な発言やユニークな発言・考え方を歓迎します。

4. 受講者への希望

林は大学卒業後、19年間（2013年3月まで）、民間企業で働いてきました。大学時代には、サラリーマンのイメージは「毎日、会社に行って、同じことの繰り返しで面白くなさそう」でした。しかし、実際の会社員は、大変なことも多いですが、社内外の色々な人との出会いもあり、自分の世界・視野も広がり、とても充実したものでした。仕事には責任がありますが、権限（自分で考えた方法でやる自由）もあるからだと思います。今後は、学生みなさんに、働くことの楽しさを伝えたいと思っていますので、一緒に（どんなことでも結構ですので）企業活動に関して興味を持ってください

5. 設問

現時点での知識や能力は一切問いません。(どんなことでも結構ですので自分の興味のある) 企業活動に関して、具体的に知りたいと思うことがある学生を歓迎します。

6. 研究室・オフィスアワー (前期)

研究室 : KAC 8号館5階

オフィスアワー : 火曜日 昼休み

7. 担当科目

企業ファイナンス論、企業経済論 など

山上 宏人 セミナール

1. 講義内容

現代経済の基本的な仕組み(機構)を、①市場メカニズム、②資本(企業)の活動、③労働市場、④国家(政府)の役割、⑤世界(貿易)、の5つのテーマによって学ぶ。

なお、各テーマに関して、次の個別重要課題を紹介する。①社会的共通資本(社会資本)、②企業の社会的責任(CSR)・社会的企業(社会的起業家)、③非正規雇用(パート・派遣・請負)、④ベーシックインカム、⑤自由貿易協定(TPP)。

2. テキストおよび参考書

テキストは使用しない。参考書は適宜紹介する。

3. 成績評価方法

平常点(60%)、「報告」と「質疑・応答」(プレゼンテーション)(20%)、および「課題レポート」(20%)による。

4. 受講者への希望

「現代経済のしくみ」を基礎から勉強しようとする意欲のあるもの。

5. 設問

最近の経済ニュースで、興味を持ったものを1つとりあげて説明しなさい。

6. 研究室・オフィスアワー(前期)

研究室 : KAC 8号館5階

オフィスアワー : 木曜日 昼休み

7. 担当科目

国際金融論、現代貨幣論 など

渡部 尚史 セミナール

1. 講義内容

(1) 税は複雑な分野であるが、政治経済や企業活動はもちろん、私たちの生活にも大きな影響を与える。基礎演習では、税を通して政治経済、企業活動を学習する。

(2) グループ(1 グループは 3 名程度)に分けて、報告する。グループの報告後、全員で討論する。

(3) 税理士、企業人による税や企業経営に関する講演会を開催する予定である。

2. テキストおよび参考書

3. 成績評価方法

評価を受けるためには、原則として 80%以上の出席、報告、課題の提出が必要である。その上で、報告 50%、課題 50%で評価する。

4. 受講者への希望

無断欠席をしないこと。

5. 設問

6. 研究室・オフィスアワー (前期)

研究室 : KAC 8号館5階

オフィスアワー : 火曜日 2限

7. 担当科目

地方財政論、公共経済論 など